令和２年度１学期始業式「式辞」に代えて

校長　中城　牧彦

桜は美しい

昨夕、同窓会長様を訪ねました。学校の桜はすでに緑の葉が顔を出し始めていますが、堀川沿いの桜は花冷えのせいか、まさに今が満開で、車中からではありましたが、改めてその美しさに感動しました。車で学校と家を行き来するだけの毎日を過ごしていますので、新鮮な喜びがありました。

新たな発見のチャンスと捉える！

再び突然の休校となってしまいました。友だちと会えない寂しさや学習に対する不安、部活動ができない悔しさがあるとは思いますが、今はじっと耐え忍ばなくてはなりません。日本のみならず、全世界が重大な局面に立ち、人類の叡智を尽くして、この難局を乗り越えていかなければならない状況にあります。前回、「新型コロナウィルスが日本の社会を変える」との見出しをつけましたが、いつも言っているように、「マイナスをしないのではなく、プラスを目指す」の精神を持って、様々な困難から新たな発見をするつもりで、この試練を乗り切りましょう。学習については、今のうちにベーシックな力を重点的に！

グローカル型：アソシエイト校

さて、本年度惟信高校は、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローカル型）」のアソシエイト校となりました。国際的な視野を持って、地域に貢献できる人材の育成を目指します。皆さんには、グローバル化する社会をどう生きるのか、そうした視点に立って、私たちが暮らすこの地域を支え得る人間として成長してほしいと願っております。

そこで提案！

提案があります。それは、「みんなで一つのことを成し遂げよう！」ということです。昨年度から、「胸を張って100周年をお祝いする」ためにはどうしたらよいか考えてくださいと言ってきましたが、みんなで一つのことを成し遂げることができたら、その喜びは計り知れない。それが惟信を誇らしく思うことにつながると思います。

グローバル化する社会でどう生きるのか？ 惟信高校の生徒であれば、惟信の卒業生であれば、みんな日常会話程度の英会話ができると言えるようになったら、すごいと思いませんか！ そのためには毎日英語に触れることが求められます。英語の得意な人も不得意な人も、話すのが好きな人も恥ずかしがり屋の人もいるとは思いますが、今後英語は必須です。一人ではできないことも、みんなと一緒ならばできるということもあります。自分が引っ張ってみんなに力を貸す、みんなの力を借りて自分を引き上げる、この循環こそが惟信が唱える「自立と協調の精神」です。卒業までに、英検準２級相当の力をつけましょう！ 準２級を持っている人は２級、さらに準１級を目指しましょう！ ３級からでも構いません。少しずつ一歩ずつ前進しましょう！

４月３日 離任式

どの先生方も極限にまでお話を凝縮され、思いを伝えてくださいました。どのお話も素晴らしく、心に留めて置きたい内容でした。感謝の意を尽くせませんが、先生方のお話を思い出すことができるよう、「進路のしおり」に記録しておきましたので、発行されたときに見てください。最後に「自分の健康と周囲の健康を考えて…。」とおっしゃった先生がみえましたが、新型コロナウィルスの感染防止に向けて、自分のことだけでなく、大切な人、世の中の人、みんなを大切にしたいと思いました。

式に際して、配慮が足りなかった面については、ご心配をおかけしました。今後気をつけていきます。

（R2.4.7）